



## ～ 自他共栄～ NO.43

2026年4月21日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

# 沖縄平和研修に参加！

4月12日～14日、中央本部の第25次沖縄平和研修が開催され、本部青年部からは千葉事務長と広瀬特別常任委員が参加しました。

3日間の行程の内、1日目に辺野古（瀬高の海岸）、嘉手納基地、普天間飛行場の周辺を現地踏査して沖縄の在日米軍基地問題の現状を学び、2～3日目に糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔、平和の礎や対馬丸記念館等を見学・踏査して、沖縄戦と対馬丸事件について学びました。また、2日目の最後に行なわれた意見交換では、「有事の際に兵站輸送を担う我々は、無関係ではいけない」、「今回の研修で学んだ内容を職場に持ち帰り、広めなければならない」という意見が出されました。

皆さんの中には「なぜ労働組合が平和の取り組みをするのか？」という疑問を持つ方も居ると思います。労働組合が平和活動をするのは、「**組合員を戦争の被害者にも加害者にもさせないため**」です。有事法制下において、JR貨物は**指定公共機関**に指定されています。そのため、有事の際には武器弾薬等の軍事物資輸送を担うことになり、皆さんの職場も攻撃の標的になる恐れがあります。法的に私たちの業務が既に有事体制に組み込まれている以上、我々は無関係ではられません。本部青年部は、戦争の無い世の中を目指して今後も取り組みを続けていきます！



↑ 杭打ち作業が続く大浦湾（名護市）  
現在のペースでも、地盤改良まで20年以上掛かる。



↑ 平和の礎（糸満市）  
同様なものが建立されるようなことは、決してあってはならない。

# 平和な世の中をつくるために、 青年部一丸となって取り組もう！！